

1. 氏名 : ピーター・マーティン・クリスチャン

2. 生年月日 : 1947年10月16日(68歳)

3. 出身地 : ポンペイ島

4. 学歴 :

1966年 ザビエル高校卒

1968年 ハワイ大学卒

5. 職歴 :

1970年 雇用サービス庁職員

1971年 米信託統治下, ポンペイ地区担当行政官に就任

1975年 ポンペイ地区議会議員当選(コロニア地区選出)

1979年 独立後, 第1代連邦議会4年議員当選(ポンペイ州)(最年少で議員に当選(当時32歳))。その後28年間, 第14代議会までポンペイ州選出4年議員)

2003年 第13代連邦議会議長に就任

2005年 第14代連邦議会議長に再任

2007年 第15代連邦議会選挙にて落選

2008年 資源開発省大臣に就任

2009年 第16代連邦議会選挙で4年議員として復帰

2011年 第17代連邦議員選挙で4年議員として補欠選挙で再選(交通・通信・インフラ委員会委員長) 第18代連邦議員も自動的に就任

2015年 3月 第19代連邦議会議員選挙で4年制連邦議員として再選  
5月 第8代ミクロネシア連邦大統領に選出(任期4年)

6. 家族構成 : Maurina 夫人との間に2児あり(孫多数)。

7. 趣味 : 読書, 特に好みのスポーツはない

8. 使用言語 : 母国語(ポンペイ語), 英語(公用語)

9. 訪日歴 : 商用で訪日経験多数, また, 大統領一行メンバーとしても複数回訪日経験あり。また, 商用で中国本土へも頻りに訪問。

10. その他

(1) 米信託統治下において, ポンペイ地区担当行政官(フィールド・サービス・オフィサー)として, ミクロネシア, 太平洋地域各地をポンペイ地区の代表として対外折衝等で活動。

(2) 2007年の選挙に敗れたが, 2008年にモリ大統領から資源開発省大臣に任命された(~2009年)。2009年連邦議会補欠選挙が実施され, 第16代議会のポンペイ州選出4年議員に返り咲く。現時点で最長年勤続の連邦議員となっている。

(3) 地域社会や国際舞台で精力的に活動し, ミクロネシアと米国との第2次自由連合協定(2003年改訂)の交渉役を果たす等, その流暢な英語能力と交渉力が高く評価されている。

(4) 当地の上位ホテルの一つ「クリフ・レインボー・ホテル」の所有事業者(現在, 同ホテルは長男が管理運営上の実務者となっている)。

